

令和7年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025年7月9日（水） 13時から14時10分
2. 開催場所 天竜中学校2階被服室
3. 出席委員 齋藤 誠、鈴木滋芳、岡安智代、中村まゆみ、高橋靖博、清水利恭
（敬称略） 小枝智美、伊藤太一（CSコーディネーター）
4. 欠席委員 米山英二、匂坂典男
5. 学 校 刑部 吏（校長）、山城百孝（教頭）、長谷川奨（生徒指導主事）
佐野正巳（校務アシスタント/CSディレクター）
6. オブザーバー 堀内信広（天竜協働センター長）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正巳
9. 議長の選出
司会（山城教頭）より議長希望者を委員各位に募るも立候補はなかった。齋藤委員から鈴木滋芳さん推薦の提案があり全委員了承でお願いすることとした。
10. 協議事項 (1) 生徒の様子について 長谷川生徒指導主事
(2) いじめアンケートの結果より 長谷川生徒指導主事
(3) 職場体験 山城教頭
(4) 学校部活動の地域移行について 刑部校長
11. 報告 (1) 学習・生活アンケート項目 山城教頭
(2) 今後の予定
12. 会議記録
委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

協議事項

(1) 生徒の様子について

○1年生は中学生の意識が芽生えてきているが、言葉使いや人間関係の係わり方でまだ幼さが残っている。しかし例年に比べ元気よくあいさつができていていると思う。2年生は普通ゆるみのでる学年だが、気を引き締めて生活がおくれている。5月の野外活動では自分たちで声掛けをしながら運営していた。3年生は4月21日から2泊3日で新幹線を使った移動で広島と京都に修学旅行に行った。例年とは違った設定だったが、生徒は貴重な経験ができたと思う。部活は県大会等に行く子供たちを除いて先週末で終了した。今後は勉強への切り替えが大切になる。8組9組の発達学級では様々な生徒がいるが、教員はそれぞれのご家庭と連携しながら様々な問題に取り組んでいる。（長谷川生徒指導主事）

・修学旅行で広島に行ったことで平和について考える機会となり大変よかったのではと思う。
（齋藤委員、伊藤太委員）

→別件だが、最近3年生向けとしてコンクリート壁にボード板を取り付けて進学情報を掲示できるようにした。進学について生徒に有効な情報を伝えるようにしたい。（刑部校長）

(2) いじめアンケートの結果より

○いじめアンケートでは1年で12件、2年で2件、3年で1件の回答があった。これは例年と似たような傾向で学年が上がるほど件数は少ない。1学期を通していじめと認定したものは本

日現在で 27 件、このうちの大半は言葉による言い合いで、じゃれあいが高じて軽い暴力となったものが 6、7 件あった。いやだと思うことは人によって違うということを常々言って指導している。またいじめの事案は 1 教員で対処するのではなく、組織で対応している。（長谷川生徒指導主事）

- ・学年が上がるにつれ件数が減っていくのは理解できた。この学校の規模でいじめが多発していないのは立派だと思う。（高橋委員）
- ・中学生は思春期でイライラ等が増える時期で指導も大変だと思うが、よろしく願いしたい。（清水委員）
- ・27 件で終わっているのは良い。今後とも指導をよろしく願いしたい。（小枝委員）
- ・いじめが起こっても早め早めに対応していただいているので、安心している。（中村委員）
- ・近年は大人の事件も日常茶飯事、中学生時代は人間形成において大切な時期だと思うので、しっかりと指導していただきたい。（岡安委員）
- ・1 年で件数が多いのは 3 つの小学校の生徒が集まってきている環境でのことなのである意味仕方ないかなと思った。上級生なるにつれて落ち着いていくのは自然の流れか（伊藤太委員）
- ・いじめに関して重大な事案は聞いていないので良いと思う。（堀内協働センター長）

（３） 職場体験

○今年は 10 月 16 日、17 日の 2 日間で実施する。（山城教頭）

- ・新しい分野として農業もどうかと思ったが、個人経営が多いので受け入れも難しいと考えて加えなかった。（伊藤太委員）

（４） 学校部活動の地域移行について

○浜松市による「休日の部活動の地域展開」として次の 3 つの方針で進めることになった。

- ① 令和 8 年 9 月以降、平日の学校部活動は継続し、休日は地域クラブ活動に移行する。
- ② 地域の多様な団体が運営団体となって地域クラブ活動を運営する。
- ③ 市が定めた要件を満たした団体を、市が認定する地域クラブ「はまクル」に登録する。

こうした部活動の地域移行を展開する為、市内で 2 校指定し検討作業に入る。天中はそのうちの 1 校として指定されるかもしれない。

天中の部活入部者を年度別に見てみると加入率は浜松市の平均 80％に対して 83～85％で平均より高い。現在部活は 16 あって部員の多い部活は 3 人の顧問を配置しているが、来年度は 3 学年で 18 クラスと今より 1 クラス減るので教員は 2 人減ることになる。それで顧問の配置も苦しくなる。他方、浜松市の運営ガイドラインから子供への安全配慮義務が要求され、1 部活 2 名の顧問が必要となる。部員の集まり具合に応じて今後部活数を調整する可能性も生じてくる。それから市の方針として平日の部活は今年 9 月から週 3 日となる。（刑部校長）

報告事項

（１） 学習・生活アンケート項目

○アンケートの内容は昨年とほぼ同じで 1 か所だけ語句を代えた。（山城教頭）

（２） 今後の予定

第 3 回学校運営協議会 令和 7 年 11 月 17 日（月）14：00～15：30